

れい わ ねん ど
令和 7 年 度

きゅうだいいち じ ぜん き
2 級 第一次 (前期)

2 級 造 園 施 工 管 理 技 術 検 定

第 一 次 検 定 (前 期) 試 験 問 題

つぎ ちゅう い
次の注 意をよく読ん でから解答 してください。

【注 意】

- これは第一次検定の試験問題です。表紙とも 10 枚あります。
HB の鉛筆又はシャープペンシルで、解答用紙（マークシート）に試験地、氏名、受験番号を記入してください。
受験番号は該当する数字をぬりつぶしてください。（万年筆・ボールペンの使用は不可）
- 問題は全て必須です。40 問題全部を解答してください。

問題番号	解答記入欄			
問題 1	①	②	③	④
問題 2	①	②	③	④
問題 10	①	②	③	④

かいとうよう し
解答用紙は

となっていますから、

もんだいばんごう たいおう
問題番号に対応する解答記入欄の正解と思う数字をぬりつぶしてください。

もんだい
問題 1 ～ 36 については正解が一つしかないの で、二つ以上ぬりつぶすと得点になりません。

もんだい
問題 37 ～ 40 については正解を全てぬりつぶしてください。正解の数字を全てぬりつぶしてないものや、正解でない数字までぬりつぶしてあるものは得点になりません。

かいとう
解答のぬりつぶし方は、解答用紙の解答記入例（ぬりつぶし方）を参照してください。

かいとう ていせい
解答を訂正する場合は、消しゴムできれいに消してから訂正してください。

- 試験問題の漢字のふりがなは、問題文の内容に影響を与えないものとします。
- 試験問題の余白は、計算等にもさしつかえありません。
- 解答用紙は、いかなる場合も持ち帰りできません。試験監督者に直接提出してから退室してください。
- 試験問題は、試験終了時刻（12 時 40 分）まで在席した方で、希望者に限り持ち帰りを認めます。途中退室者は、持ち帰りできません。

※ 問題 1 ～ 36 については正解番号を一つぬりつぶしてください。

〔問題 1〕 日本庭園における「庭園名」と「庭園様式」の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

- | | ていえんめい
(庭園名) | ていえんようしき
(庭園様式) |
|-----|-------------------------------|---------------------------|
| (1) | じよう るり じていえん
浄瑠璃寺庭園 | ちやにわ
茶庭 |
| (2) | すいぜん じ じようじゆえん
水前寺成趣園 | ち せんかいゆうしきていえん
池泉回遊式庭園 |
| (3) | だい こ じ さんぼういんていえん
醍醐寺三宝院庭園 | じよう ど しきていえん
浄土式庭園 |
| (4) | びやうどういんていえん
平等院庭園 | かれざんすいしきていえん
枯山水式庭園 |

〔問題 2〕 土 壌に関する記 述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 表層土は踏圧の影響を受けやすく、一般に土 壌の固相率が高くなる。
- (2) 市街地では、コンクリートの影響などにより、一般に土 壌がアルカリ化する傾向がある。
- (3) 植物が最も吸収利用しやすい土 壌水分は、吸湿水である。
- (4) 土 壌空気は、一般に大気に比べて二酸化炭素濃度が高い。

〔問題 3〕 土 壌改良材に関する次の(イ)、(ロ)の記述について、正しいものは「正」、誤っているものは「誤」として、**適当な組合せ**はどれか。

- (イ) 真珠岩パーライトは、凝灰岩を粉碎したものであり、土 壌の保肥力を改善する効果がある。
- (ロ) ピートモスは、有機質系の改良材で、土 壌を膨軟化する効果がある。

- | | (イ) | (ロ) |
|-----|-----------|-----|
| (1) | せい ——— せい | 正 |
| (2) | せい ——— こ | 誤 |
| (3) | こ ——— せい | 正 |
| (4) | こ ——— こ | 誤 |

〔問題 4〕 肥料に関する次の記述の(イ)、(ロ)の記述について、(A)、(B)に当てはまる語句の組合せとして、**適当なものはどれか。**

(イ) (A) 肥料は、一般に葉肥ともいわれ、たんばく質や葉緑素をつくり、茎や葉の生長を促進する。

(ロ) (B) 肥料は、一般に根肥ともいわれ、酵素を活性化させ、細胞の生理作用を調整する。

- | | (A) | (B) |
|-----|------|------|
| (1) | 窒素質 | リン酸質 |
| (2) | 窒素質 | カリ質 |
| (3) | リン酸質 | カリ質 |
| (4) | リン酸質 | 窒素質 |

〔問題 5〕 植物に対して次の記述の被害をもたらす昆虫として、**適当なものはどれか。**

成虫、幼虫ともに集団をなして植物体に針状の口を刺し吸汁するため、植物の生育が阻害される。また、その排泄物にすす病菌が寄生することがある。

- (1) アメリカシロヒトリ
- (2) カイガラムシ類
- (3) カミキリムシ類
- (4) ハムシ類

〔問題 6〕 造園樹木の性質に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) アジサイ、サンゴジュは、湿り気のある土壌を好む。
- (2) カクレミノ、ヤツデは、日陰に耐える。
- (3) イヌツゲ、カイヅカイブキは、刈込みに耐える。
- (4) ビワ、ヤマモモは、秋から冬にかけて結実する。

〔問題 7〕 ^{もんだい}花壇^{か だん}に用^{もち}いられる球^{きゅう}根^{こん}草^{くさ}花^{ばな}として、^{しゅ}2種^{がいてう}とも該^あ当^{くみあわ}するものはどれか。

- (1) キンギョソウ，ヒナゲシ
- (2) アガパンサス，ハナショウブ
- (3) コスモス，マツバボタン
- (4) スイセン，ムスカリ

〔問題 8〕 ^{もんだい}ノシバ^{せいしつ かん}の性^{つぎ}質^{き じゅつ}に関する次^あの記^{こ ぐ}述^{くみあわ}の(A)～(C)に当^あてはまる語^{こ ぐ}句^{くみあわ}の組^あ合^{くみあわ}せとして、
^{てきとう}適^あ当^{くみあわ}なものはどれか。

ノシバは^{に ほんしば}日本芝^{せいいくがた}であり、生^{がた}育^{はんしよく}型^{はんしよく}は(A)型^{はんしよく}で、繁^{はんしよく}殖^{はんしよく}は(B)によるこ^{おお}とが多い。
ベントグラス類^{るい}などの西^{せい}洋^{よう}芝^{しば}に比^{くら}べて踏^{とう}圧^{あつ}に耐^たえる力^{ちから}が(C)。

- | | (A) | | (B) | | (C) |
|-----|---------------------------------|----|--|----|-------------------|
| (1) | 株 ^{かぶ} 立 ^{だち} | —— | 種 ^{しゅ} 子 ^し 繁 ^{はん} 殖 ^{しよく} | —— | 強 ^{つよ} い |
| (2) | 株 ^{かぶ} 立 ^{だち} | —— | 栄 ^{えい} 養 ^{よう} 繁 ^{はん} 殖 ^{しよく} | —— | 弱 ^{よわ} い |
| (3) | ほふく | —— | 種 ^{しゅ} 子 ^し 繁 ^{はん} 殖 ^{しよく} | —— | 弱 ^{よわ} い |
| (4) | ほふく | —— | 栄 ^{えい} 養 ^{よう} 繁 ^{はん} 殖 ^{しよく} | —— | 強 ^{つよ} い |

〔問題 9〕 ^{もんだい}木^{もく}材^{ざい}の一^{いっ}般^{ぱん}的^{てき}な性^{せい}質^{しつ}に関する次^{かん}の(イ)、(ロ)の記^{つぎ}述^{き じゅつ}について、正^{ただ}しいものは「正^{せい}」、
^{あやま}誤^ごっているものは「誤^ご」として、^{てきとう}適^あ当^{くみあわ}な組^あ合^{くみあわ}せはどれか。

- (イ) まさ目^めの材^{ざい}は、板^{いた}目^めの材^{ざい}に比^{くら}べて、膨^{ぼう}張^{ちよう}や収^{しゅう}縮^{しゆく}による変^{へん}形^{けい}が小^{ちい}さい。
- (ロ) 木^{もく}材^{ざい}の辺^{へん}材^{ざい}は、樹^{じゅ}心^{しん}に近^{ちか}い心^{しん}材^{ざい}より水^{すい}分^{ぶん}が少^{すく}ないため、腐^{くさ}りにくい。

- | | (イ) | | (ロ) |
|-----|-----------------|----|-----------------|
| (1) | 正 ^{せい} | —— | 正 ^{せい} |
| (2) | 正 ^{せい} | —— | 誤 ^ご |
| (3) | 誤 ^ご | —— | 正 ^{せい} |
| (4) | 誤 ^ご | —— | 誤 ^ご |

〔問題 10〕 造園樹木の根回しに関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 溝掘式の根回しは、側根だけ切断する方法であり、一般に浅根性の樹種を対象に行う。
- (2) 根回しの時期は、根の発根が著しい春期が最も良く、梅雨期までに行うのが良い。
- (3) 貴重な樹木や衰弱している樹木の根回しは、2、3回に分けて2、3年かけて行うのが安全である。
- (4) 根回しは根の切断を行うことから、地下部の根系とのバランスをとるため、地上部の枝葉を剪定する。

〔問題 11〕 秋期に剪定を行っても翌年の開花に大きな支障が出ない花木として、**適当なもの**はどれか。

- (1) キンモクセイ
- (2) ジンチョウゲ
- (3) ドウダンツツジ
- (4) ヤブツバキ

〔問題 12〕 植物の施肥に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 一般に元肥は遅効性の肥料を、追肥は速効性の肥料を施す。
- (2) 芽出し肥は、萌芽を促進させるもので、一般に、速効性の肥料が使用される。
- (3) 一度に多量の肥料を施すと、葉焼けを起こして枝が枯れることがある。
- (4) 高木への施肥は、樹木の根元にできるだけ近い位置に施す。

〔問題 13〕 芝生の造成に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 西洋芝の播種は、発芽した芽が高温や乾燥で枯死しないようにするため、一般に真夏を避ける。
- (2) 植栽箇所の土壌は、耕うん機でよく掘り起こして、雑草や石などを取り除いておく。
- (3) 播種や植芝の場合は、生育を促進するため、整地と同時に床土に基肥を施す。
- (4) 切芝を張り付けた後は、床土の土壌硬度を上げないようにするため、ローラなどによる転圧は避ける。

〔問題 14〕 くるま しいようしゃ はいりょ こうえん えん ろ つう ろ かん つぎ
 車いす使用者に配慮した公園の園路（通路）に関する次の（イ）、（ロ）の記述に
 ついて、（Ａ）、（Ｂ）に当てはまる数値の組合せとして、**適当なものはどれか。**
 ただし、ち ほうこうきょうだんたい じょうれい と し こうえん い どうとうえんかつ か き じゅん さだ さい さんしゃく こく
 地方公共団体が条例で都市公園移動等円滑化基準を定める際に参酌する国
 土交通省令の基準による。

- （イ） えん ろ つう ろ ゆうこうはば え ば あい のぞ い じょう
 園路（通路）の有効幅は、やむを得ない場合を除き（Ａ）cm 以上とする。
 （ロ） こうえん で いりぐち くるま ど もう ば あい とうがいくま ど そう こ かんかく ひと い
 公園の出入口に車止めを設ける場合は、当該車止めの相互の間隔のうち一つ以
 上は、（Ｂ）cm 以上とする。

（Ａ） （Ｂ）

- (1) 150 ——— 75
 (2) 150 ——— 90
 (3) 180 ——— 75
 (4) 180 ——— 90

〔問題 15〕 うんどう し せつ かん き じゅつ てきとう
 運動施設に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) や きゅうじょう ない や はいすいこうばい ほんるい かくるい む
 野球場の内野の排水勾配を、本塁より各塁に向かってとった。
 (2) りくじょうきょう ぎ じょう はいすいこうばい はし ほうこう ぶん こ
 陸上競技場のトラックの排水勾配を、走る方向では1,000分の1を超えないようにした。
 (3) こうしき すんぼう けいそく そとがわ おこな
 硬式テニスコートの寸法の計測を、すべてラインの外側で行った。
 (4) じょう にしがわ もう
 サッカー場のメインスタンドを、西側に設けた。

〔問題 16〕 ゆうぐ せつ ち かん き じゅつ てきとう
 遊具の設置に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) てつぼう せつ ち あ にぎ ぼう ふと ちょっけい
 鉄棒を設置するに当たり、握り棒の太さを直径30mmとした。
 (2) じ どうようすべ だい せつ ち あ かつこう ぶ けいしゃかく ど すいへい たい ど
 児童用滑り台を設置するに当たり、滑降部の傾斜角度を水平に対して35度とした。
 (3) がたすな ば せつ ち あ すな ふか
 サンドピット型砂場を設置するに当たり、砂の深さを150mmとした。
 (4) いちほうこう せつ ち あ ちゃく ざ ぶ ていめん さい か てん せつ ち めん かんかく
 一方向ぶらんこを設置するに当たり、着座部底面の最下点から設置面までの間隔を
 350mmとした。

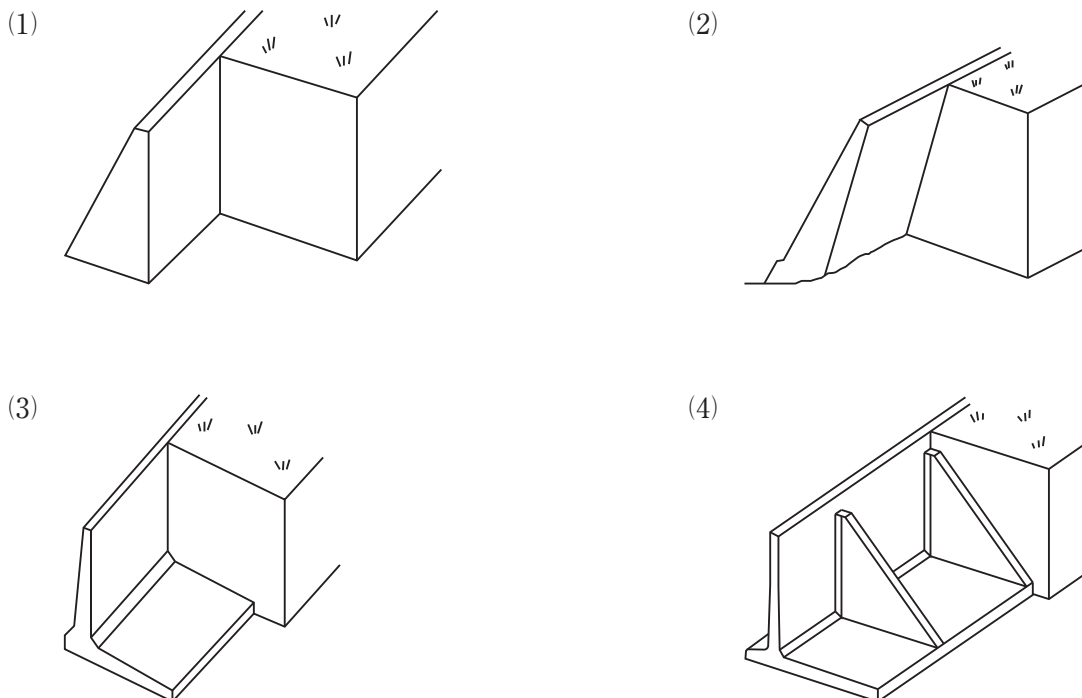
〔問題 17〕 盛り土に関する記述のうち、**適当でない**ものはどれか。

- (1) 大きな岩塊は盛土の下部に集め、そのすき間に土砂を充填して十分に締め固めた。
- (2) 盛土材料として、せん断強度が低く、圧縮性が大きい土を使用した。
- (3) 勾配 1 : 3 の斜面に盛土する際、地盤と盛土の密着を確実にするため、地山の段切りを行った。
- (4) 軟弱地盤上の盛土の施工において、施工後の沈下を見込んで、余盛りを行った。

〔問題 18〕 コンクリートに関する記述のうち、**適当でない**ものはどれか。

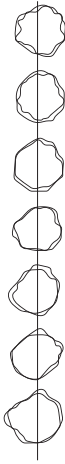
- (1) コンクリートとは、セメント、水、細骨材、粗骨材及び必要に応じて加える混和材料を構成材料とし、これらを練り混ぜたものである。
- (2) レディーミクストコンクリートとは、荷卸し地点における品質を指示して購入することができるフレッシュコンクリートのことである。
- (3) コンクリートの曲げ強度は、引張強度より小さいが、圧縮強度より大きい。
- (4) コンクリートの打ち込み中、表面にたまったブリーディング水は、スポンジ等で取り除いてからコンクリートを打ち込まなければならない。

〔問題 19〕 擁壁の構造形式を示した図（模式図）のうち、**控え壁式擁壁**はどれか。

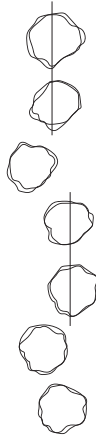


〔問題 20〕 飛石の打ち方を示す図のうち、「千鳥がけ」はどれか。

(1)



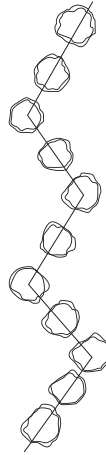
(2)



(3)



(4)



〔問題 21〕 公園内の電気工事に関する次の(イ)、(ロ)の記述について、正しいものは「正」、誤っているものは「誤」として、適切な組合せはどれか。

(イ) 車両が通行する管理用園路の上部を横断して低圧架空引込線を設ける際、電線の高さを路面上5.0mとした。

(ロ) 車両が通行しない歩行者専用園路に100Vの地中電線路を直接埋込式により設ける際、埋設深さを0.6mとした。

(イ) (ロ)

(1) 正 ——— 正

(2) 正 ——— 誤

(3) 誤 ——— 正

(4) 誤 ——— 誤

〔問題 22〕 給水管に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 給水管に空気だまりが生じるおそれがある場所に、減圧弁を設置した。
- (2) 地盤沈下のおそれがある場所で、伸縮性を有する給水管を使用した。
- (3) 再掘削する際に管の損傷を未然に防止するために、布設した給水管の上方に明示シートを埋設した。
- (4) 水圧等により給水管の接合部が離脱するおそれがある場所に、離脱防止金具を取付けた。

〔問題 23〕 「公共工事標準請負契約約款」に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 設計図書としては、図面の他に仕様書、現場説明書及び現場説明書に対する質問回答書も含まれる。
- (2) 発注者は、監督員を置いたときや監督員を変更したときは、その氏名を受注者に通知しなければならない。
- (3) 施工方法や使用する建設機械などの工事目的物を完成するための手段は、契約書又は設計図書に特別の定めがある場合を除き、発注者が定める。
- (4) 発注者は、工事目的物の引渡し前においても、工事目的物の全部又は一部を受注者の承諾を得て使用することができる。

〔問題 24〕 造園工事から発生する建設副産物のうち、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）」に規定する特定建設資材廃棄物に**該当しないものはどれか。**

- (1) 水遊び場の改修に伴い生じたコンクリート塊
- (2) 木柵の撤去に伴い生じた建設発生木材
- (3) 広場の再整備に伴い生じた建設発生土
- (4) 園路の改築に伴い生じたアスファルト・コンクリート塊

〔問題 25〕 人力による高木植栽（幹周15cm未満）及び人力による張芝に関する次の（イ），（ロ）の記述について，作業に要する日数の組合せとして，正しいものはどれか。

ただし，高木植栽の歩掛は100本あたり25人・日
張芝の歩掛は100m²あたり3人・日とする。

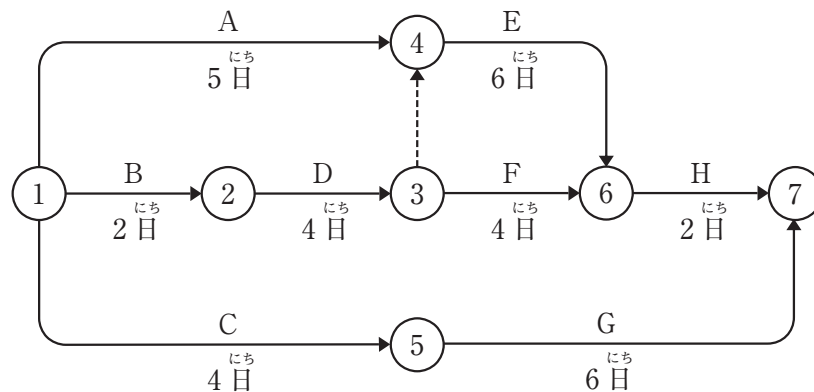
（イ） 高木130本を6人で植栽する。

（ロ） 張芝面積1,100m²を5人で施工する。

- | | （イ） | （ロ） |
|-----|-----|-----|
| （1） | 5日 | 6日 |
| （2） | 5日 | 7日 |
| （3） | 6日 | 6日 |
| （4） | 6日 | 7日 |

〔問題 26〕 下図に示すネットワーク式工程表で表される工事におけるクリティカルパスの所要日数として，正しいものはどれか。

ただし，図中のイベント間のA～Hは作業内容を，日数は作業日数を表す。



- （1） 10日
- （2） 12日
- （3） 13日
- （4） 14日

〔問題 27〕 経済的な工程計画を作成する場合の一般的な留意事項に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 機械設備は、故障や不具合に備え、できるだけ多く準備するよう計画する。
- (2) 施工の段取り待ち、材料待ちなどの損失期間をできるだけ少なくなるよう計画する。
- (3) 仮設資材は、必要最小限とし、できるだけ反復使用するよう計画する。
- (4) 合理的最小限の一定数の作業員をもって、全工事期間を通じて稼働作業員数の不均衡をできるだけ少なくなるよう計画する。

〔問題 28〕 「公共用緑化樹木等品質寸法規格基準（案）」に関する記述のうち、**適当でないものはどれか。**

- (1) 幹周は、根鉢の上端より1.2m上りの位置を測定するが、この部分に枝が分岐しているときは、その下部を測定する。
- (2) 2本立の株立物の幹周は、2本の幹の周長の総和の70%の値とする。
- (3) 3本立の株立物の樹高の判定は、2本が所要の樹高に達しており、他の1本が所要の樹高の70%以上に達しているかどうかで判断する。
- (4) 単幹とは、幹が根元近くから分岐せず1本であるものをいう。

〔問題 29〕 下表の（イ）～（ハ）は「工種」、「品質特性」、「試験方法」の組合せを示したものである。表の（A）～（C）に当てはまる語句の組合せとして、**適当なものはどれか。**

	工種	品質特性	試験方法
（イ）	（A）	スランプ	スランプ試験
（ロ）	土工	（B）	平板載荷試験
（ハ）	路盤工	粒度	（C）

- | | | |
|---------------|---------|------------|
| （A） | （B） | （C） |
| (1) アスファルト舗装工 | —— 支持力値 | —— 透水試験 |
| (2) アスファルト舗装工 | —— 締固め度 | —— ふるい分け試験 |
| (3) コンクリート工 | —— 支持力値 | —— ふるい分け試験 |
| (4) コンクリート工 | —— 締固め度 | —— 透水試験 |

〔問題 30〕 建設工事の現場における労働安全衛生管理に関する記述のうち、**適当なもの**はどれか。

- (1) 墜落の危険がある高所作業に当たって使用する保護帽は、飛来・落下物用のものとした。
- (2) 機械器具について、特定の点検責任者は定めず、各作業員が点検を行い、不安全な状態や動作を見つけたときには改善した。
- (3) 常時10名の労働者が作業を行う事業場では、安全衛生推進者を選任しなければならない。
- (4) 常時40名の労働者が作業を行う事業場では、産業医を選任しなければならない。

〔問題 31〕 移動はしごを用いた作業に関する記述のうち、**安全管理上、適当でないもの**はどれか。

- (1) 移動はしごを作業床に立て掛ける際に、その上端を作業床から80cm突出するようにした。
- (2) 移動はしごを樹木に立てかけて作業する際、その上部をロープで幹に固定した。
- (3) 移動はしごを使用して作業を行う際、踏み板が30cmの等間隔に設けられているものを用いた。
- (4) 移動はしごをやむを得ず継いで用いる際、接続部を1.0m重ね合わせて、2か所で堅固に固定して用いた。

〔問題 32〕 造園工事における高所作業を安全に行うための措置に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 本足場における高さ3mの作業場所において、幅40cmで、床材の間のすき間5cmの作業床を設けた。
- (2) 本足場における高さ5mの作業場所で、作業のため物体が落下することにより労働者に危険を及ぼす可能性があったので、メッシュシートを設けた。
- (3) 中震（震度4）の地震の後に本足場における作業を行う際、作業を開始する前に、床材の損傷や足場用墜落防止設備の脱落の有無などを点検した。
- (4) 高さ3mの位置から物体を投下する際、投下設備を設け、監視人を置いた。

〔問題 33〕 「都市公園法」上、占用物件として都市公園に設けることができないものはどれか。

- (1) 災害応 急 対策に必要な物資の備蓄倉庫
- (2) 工事用材 料の置場
- (3) 病院
- (4) 地下に設けられる公 共 駐 車 場

〔問題 34〕 次の（イ）及び（ロ）の営 業 形態で造園工 事 業を営もうとする場合の建設 業の許可として、「建設 業 法」上、正しいものはどれか。

- (イ) 本店のみをA県B市に設け、営 業 しようとする営 業 形態
- (ロ) 発 注 者から直 接 請 け 負 い、下 請 代 金 の 総 額 が 3,000 万 円 と な る 下 請 契 約 を 締 結 して施 工 しようとする営 業 形態

- (1) A県知事許可の一般建設 業
- (2) A県知事許可の特定建設 業
- (3) B市 長 許可の一般建設 業
- (4) B市 長 許可の特定建設 業

〔問題 35〕 「労働基 準 法」に関する記 述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 使用者は、6 週 間 以 内 に 出 産 する 予 定 の 女 性 が 休 業 を 請 求 した 場 合 に お い て は、その 者 を 就 業 させ て は な ら ない。
- (2) 使用者は、労働者を解雇しようとする場合においては、原則として、少なくとも2 週 間 前 に その 予 告 を し な け れ ば な ら ない。
- (3) 使用者は、労働者に対して休 憩 時 間 を 与 え る 際、原則として、一 斉 に 与 え な け れ ば な ら ない。
- (4) 使用者は、満 18 才 に 満 た ない 者 を、安全、衛生又は福祉に有害な場所における業 務 に 就 かせ て は な ら ない。

〔問題 36〕 「労働安全衛生法」に関する記述のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 建設業を行う事業者は、労働者の作業内容を変更したときは、その従事する業務に関する安全又は衛生のための教育を行わなければならない。
- (2) 建設業を行う事業者は、事業場の規模にかかわらず、衛生委員会又は安全委員会のいずれかを設置しなければならない。
- (3) 建設業を行う事業者は、一定の有害な業務を行う作業場について、必要な作業環境測定を行い、その結果を記録しておかなければならない。
- (4) 建設業を行う事業者は、中高年齢者については、当該労働者の心身の条件に応じて適正な配置を行うように努めなければならない。

※ 問題 37 ～ 40 については正解番号を全てぬりつぶしてください。

次の〔工事数量表〕及び〔工事に係る条件〕に基づく造園工事に関して、以下の問題 37 ～ 40 について答えなさい。

〔工事数量表〕

工 種	種 別	細 別	規 格				単 位	数 量	備 考
植 栽 工	高 木 植 栽 工	ヤマボウシ	H(m)	C(m)	W(m)	株立数	ほん 本	8	二脚鳥居型支柱 (添木付き) マルチングを含む
			3.0	0.15	—	3本立			
	地被類 植 栽 工	ノ シ バ	36 cm × 28 cm × 10 枚				m ²	1,800	目地張り (目土あり)
移 植 工	高 木 移 植 工	エ ノ キ	H(m)	C(m)	W(m)	株立数	ほん 本	3	
			4.0	0.21	1.5	—			
樹 木 整 姿 工	高 中 木 整 姿 工	ケ ヤ キ	H(m)	C(m)	W(m)	株立数	ほん 本	15	
			9.0	0.70	5.0	—			
	低 木 整 姿 工	ベニカナメモチ	H(m)	C(m)	W(m)	株立数	m	100	生垣植栽
			2.5	—	—	—			
公園施設 等撤去・ 移 設 工	公 園 施 設 撤 去 工	公園施設 撤 去	も 木	せ 製	ゆ う	ぐ 具	し 式	1	

〔工事に係る条件〕

- 本工事は、関東地方の住宅地内に設置された近隣公園において、その一部区域の再整備工事を行うものであり、上記の工事数量表に基づく工事を施工するものである。
- 移植工のエノキは、園内の他の場所から移植する。
- 工期は、6月1日から翌年の3月31日までとする。

〔問題 37〕 本工事の^{ほんこうじ}エノキの^{こうばく いしよくこう}高木移植工に関する^{きじゆつ}記述のうち、^{てきとう}適当なものを^{すべ えら}全て選びなさい。

- (1) ^{うんぱん}運搬時に^{ね ばち}根鉢の^{じゅうりょう}重量を^{かる}軽くするため、^{ほり と}掘取りの^{いっしゅうかんまえ}一週間前から^{かんすい}灌水を^{ひか}控え、^{ね ばち}根鉢を^{かんそう}乾燥させた。
- (2) ^{ざっそうるい}雑草類を^{いしよくさき}移植先に^{も こ}持ち込まないようにするため、^{うわっぱち}上鉢のかき取りを行った。
- (3) ^{しんこん}新根の^{はっせい}発生を^はうながすために、^{ね き}根の^{くち えいり}切り口を^{はもの き}鋭利な刃物で^{なお}切り直した。
- (4) ^{う あな}植え穴の^{そこ}底は、^{うえつ}植付け時に^じ樹木の^{じゅもく}向きや^む傾きなどを^{かたむ}容易に^{ようい}調節できる^{ちようせつ}ようにするため、^{ちゅう}中央を^{おう}やや^{ふか}深めにした。

〔問題 38〕 本工事において行った^{おこな}樹木整姿工に関する^{きじゆつ}記述について、^{てきとう}適当なものを^{すべ えら}全て選びなさい。

- (1) ケヤキの^{せんてい}剪定にあたり、^{つうじょう}通常の^{えだ}枝に^{ひ かく}比較して^{いきお}勢いよく^の伸びる^{と ちようし}徒長枝は、^{じゆけい}樹形を^{みだ}乱すほか、^{ようぶん}養分を^と摂りすぎるため^{せつじょ}切除した。
- (2) ケヤキの^{せんてい}剪定を、^{じゅ し}樹枝の^{こつかく}骨格・^{はい ち}配置が^{かくにん}確認しやすい、^{らくよう}落葉を終えた^お12月に^{がつ}実施した。
- (3) ベニカナメモチの^{いけがき}生垣の^{かり こ}刈込みについて、^{まいとしおな}毎年同じ^{い ち}位置で^{か こ}刈り込まれていたため、^{ほう がりよく}萌芽力が^お落ちるのを^{ふせ}防ぐため、^{い ち}これまでの^{ふか か}位置より^{か こ}深く刈り込んだ。
- (4) ベニカナメモチの^{いけがき}生垣の^{かり こ}刈込みを行う際、^{おこな}裾の^{さい}美しい^{すそ}線を^{うつく}保つため、^{うわえだ}上枝を^{よわ}弱く、^{したえだ}下枝を^{つよ}強く^{か こ}刈り込んだ。

〔問題 39〕 本工事の^{ほんこうじ}施工計画に関する^{きじゆつ}記述のうち、^{てきとう}適当なものを^{すべ えら}全て選びなさい。

- (1) ^{ろう む けいかく}労務計画には、^{こう じ}工事における^{あんぜん}安全ミーティングなどの^{かつどうけいかく}活動計画が含まれる。
- (2) ^{ゆ そうけいかく}輸送計画には、^{こうえん し}公園施設^{せつてつきょこう}撤去工に使用する^{し しょう}バックホウを、^{こうえん}公園に^{はんにゆう}搬入する^{けい ろ}経路の^{けいかく}計画が含まれる。
- (3) ^{ひんしつかんり}品質管理計画には、^{もくせいゆう ぐ}木製遊具の^{てつきょ}撤去に伴い^{ともな}発生する^{はっせい}建設副産物の、^{けんせつふくさんぶつ}再利用方法に関する^{さいり}計画^{ようほうほう}が^{かん}含まれる。
- (4) ^{かんきよう}環境保全計画には、^{ほ ぜんけいかく}工事における^{こう じ}騒音・^{そうおん}振動への^{しんどう}対策^{たいさく}が含まれる。

〔問題 40〕 本工事で使用するため現場に搬入された植物材料について、「公共用緑化樹木等品質寸法規格基準（案）」に基づき品質規格を判定した結果として、**適当なものを全て選**びなさい。

- (1) ヤマボウシの「樹皮」について、一部に損傷の痕跡があったが、ほとんど目立たず正常な状態を保っているため、品質規格を満たしているものと判定した。
- (2) ヤマボウシの「枝」について、生育状況が良好であったが、処理されていない徒長枝が認められたため、品質規格を満たしていないものと判定した。
- (3) ヤマボウシの「病虫害」について、幹に虫害による穴があいていたため、品質規格を満たしていないものと判定した。
- (4) ノシバの「葉」について、高さが一定でなかったが、生き生きとしていたため、品質規格を満たしているものと判定した。